

第5回 日本芸術院の会員選考に関する検討会議

議事要旨

1. 日 時 令和3年5月12日（月）15時～17時
2. 場 所 文部科学省第2講堂（旧庁舎6階）（※WEB会議）
3. 出席者
 <委 員> 尾崎委員（座長）、建島委員（副座長）、逢坂委員、岡島委員、
 岡室委員、加治屋委員、草薙委員、澤委員、坂東委員、三浦委員、
 山根委員（下線の委員はオンライン参加）
 <オブザーバー> 日本芸術院 高階院長
 <事務局> 文化庁 矢野次長、出倉審議官、梶山参事官（芸術文化担当）
 根来文化戦略官 他
4. 議 事 これまでの議論をふまえたとりまとめ案について討議
5. 議事要旨
 - 「日本芸術院の会員選考に関する検討会議 取扱要領」（第1回検討会議の資料1参照）の3.（4）に基づき、議事及び配布資料を公開した。
 - 冒頭、尾崎座長より、令和3年4月29日に御逝去された柳原正樹委員（独立行政法人国立美術館理事長・京都国立近代美術館長）について弔意が示された。
 - 事務局から、資料の説明と欠席の島委員から事前に頂いた意見の紹介を行った。
 - これまでの議論をとりまとめた「資料1 日本芸術院改革の方向性（とりまとめ案）」について、修正なしで了承された。
 - 委員から、今後の芸術院への期待や、改革の状況や成果も見ながら、本検討会議において議論を継続していくことが必要といった意見が述べられた。
 - 高階院長より、今回の「とりまとめ」をしっかりと受け止め、今年度の会員選考に反映できるよう、早速、具体的な対応を検討する旨の発言があった。
 - 最後に、矢野次長から、これまでの議論や今回の「とりまとめ」に対する謝意と、文化庁としても芸術院と一緒にしっかりと改革に取り組んでいく旨の挨拶があった。